



号外

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3593-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

がんばろう 東日本大震災復興と
NIPPON 日本の再生に向けて
～みんなでがんばろう！～

地域の声を力に! ミニ集会に参加してみませんか

もとむら事務所では少人数による集会を行っています。

国政報告や皆様からの生の声を聞かせていただき、政策に反映させていただいております。ぜひ皆さんもミニ集会に参加していただき、または行っていただき、一緒に政治をより身近なものにしていきましょう! 詳しくは下記事務所までお問い合わせ下さい。お待ちしております。



あなたも民主党に 参加してみませんか

民主党は、生活者、勤労者、納税者、障がい者の立場にたって考え、21世紀の扉を開く新しい発想の政党です。

もとむら賢太郎事務所では、民主党への入党を受け付けています。年間党費は6,000円です。入党された皆様にはメンバーズカードを発行し、民主党機関誌「プレス民主」を月に2回お届けします。

ご寄付のお願い

財政的にも、もとむら賢太郎をご支援いただける方は是非宜しくお願い致します。なお、いただきましたご寄付は、税額控除の対象となりますので、下記事務所連絡先までお問い合わせください。

※政治資金規正法上、ご寄付いただける方は、「お名前」「ご自宅住所」「電話番号」「ご職業」をお知らせくださいますよう、お願い致します。

民主党神奈川県第14区総支部
総支部長 もとむら賢太郎
横浜銀行 相模台支店 普通口座1525332

ポスターを掲示させてください

ぜひ、ご自宅の玄関やフェンスなど皆様のお近くに「もとむら賢太郎ポスター」を掲示させていただければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



国会議事堂見学へのお誘い

皆様からお預かりしている税金の使い方や、日常生活に大きく関わる様々な法律が審議・決定される場所である国会議事堂にいらっしゃいませんか?

もっともっと皆さんにとって身近に感じられるよう、お時間の許す限りご案内いたします。ぜひ国会までお越し下さい。詳しくは、下記事務所までご連絡下さい。お待ちしております。



もとむら賢太郎プロフィール

- 相模台幼稚園・市立桜台小・相模台中・県立麻溝台高校・青山学院大卒。
- 本村和喜参議院議員秘書、東鉄工業(株)、藤井裕久代議士秘書。
- 平成19年県議会議員選挙にて、35,462票で2期目当選(トップ当選)。
- 平成21年8月衆議院議員選挙にて、157,644票で初当選を果たす。
- 地域活動・相模原市議会議員・相模原シティライオンズクラブ

■相模原事務所
〒252-0203 神奈川県相模原市中央区東淵野辺4-15-1
相模原総合卸売市場E棟7号
TEL 042(768)9055 FAX 042(768)9066
■ホームページ <http://dpj-kanagawa14.jp/motomura/>

■国会事務所
〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第2議員会館305号
TEL 03(3508)7460 FAX 03(3508)3290
■メール motomura@dpj-kanagawa14.jp



つなごう 日本の未来

衆議院議員 文部科学委員・内閣委員・倫選特委員

もとむら 賢太郎

国政報告新聞 2012 新春版



やります! 議員定数削減を。
国家公務員給与削減を。

今年は、台湾・ロシア・フランス・韓国・アメリカと国の代表も決まる選挙があり、またロンドンオリンピックや日中国交正常化40周年など、世界は節目の年を迎えました。しかし、日本ではこれまでTPP問題や社会保障改革や消費税問題など決定しづらい事項について国会で先送りにしてきました。たとえば、日本の公的債務残高について、国際通貨基金(IMF)では、2011年度末に1,000兆円を超えると指摘、経済協力開発機構(OECD)では、2012年に対GDP(国民総生産)比218.7%になると予測しています。借金でGDPの2倍となる国は他に例がなく、危機が報じられている。ギリシャでさえ、対GDP比159%です。私たちは、将来を担う子や孫の世代に「ツリ」をまわすわけにはいきません。ついに野田政権の下で、党派を超えて国益を考えた施策を展開するべきと考えます。私たち民主党は、政権交代後、積極的な対応もありましたが、今年こそこの反省をふまえ、奪党一致で未来の日本づくりに向けてのどんと頑張ります。昨年19回に渡り、私自身被災地でボランティア活動をしてきたため、経験を通して、被災地復興と日本の再生に向けて頑張ります。

2012年 初春 衆議院議員もとむら賢太郎

あの日を忘れないよう『つなごう 日本の未来』をモットーに被災地復興と日本の再生に向けて全力を尽くします。今後とも支援物資、ボランティア活動にご協力をお願い致します。



支援物資をお届けしました



支援車両をお届けしました

**被災地の皆様から
多くのメッセージを
お預かりしております。**

再生可能エネルギーの開発が進んでいます。

宇宙太陽光発電システム（SSPS：Space Solar Power Systems）は、地上約3万6000kmの静止軌道の上に太陽光の大規模集光装置を設置して、太陽光エネルギーをマイクロ波またはレーザー光に変換して地球に伝送し、電力として利用するシステムのことで、国内では、宇宙航空研究開発機構（JAXA）を中心とした大学および国立研究所の研究者により、2030年頃の商用化開始を目標に研究が進められています。